

令和8 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	調剤レセプト演習Ⅱ		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期	教室名	
担 当 教 員	佐々木 実	実務経験と その関連資格	薬剤師として調剤業務および報酬請求業務に従事			
《授業科目における学習内容》						
保険薬局における基礎的なレセプト請求業務の知識を有し、レセプトの作成・点検ができるなどの実践力を養うことを目標とする。						
《成績評価の方法と基準》						
試験(70%)出席(20%)平常点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
調剤報酬テキスト・配付プリント						
《授業外における学習方法》						
指定した教科書を授業後に読み毎回復習すること						
《履修に当たっての留意点》						
調剤報酬の算定要件を理解して、基礎的な計算ができることが目標です。毎回積み重ねていく講義形式になりますので欠席の無いようにしてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	外来服薬支援料2(一包化)の算定の練習を行う	テキスト・プリント		
		各コマにおける授業予定	一包化の算定要件の確認と計算練習			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	原薬量から薬価収載濃度の薬剤量への計算を理解する	テキスト・プリント		
		各コマにおける授業予定	特に小児用量の計算を行う			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	外来服薬支援料1の算定要件を理解する	テキスト・プリント		
		各コマにおける授業予定	外来服薬支援1の算定を行う			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	時間外加算等の算定要件を理解する	テキスト・プリント		
		各コマにおける授業予定	時間外、休日、深夜加算の計算を行う			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	夜間休日等加算の算定要件を理解する	テキスト・プリント		
		各コマにおける授業予定	夜間休日等加算の計算を行い前回の時間外加算等との違いを確認する			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標 内服用滴剤、特殊な服用の内服薬の算定を理解する	テキスト・プリント	
		各コマにおける授業予定 内服用滴剤や漸減療法の薬剤調製料を計算する		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標 生薬の薬剤調製料を理解する	テキスト・プリント	
		各コマにおける授業予定 湯薬、浸煎薬の薬剤調製料を計算する		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標 麻薬処方せんについて理解する	テキスト・プリント	
		各コマにおける授業予定 麻薬処方せんの様式、麻薬の取り扱いと実際の計算を行う		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標 かかりつけ薬剤師指導料を理解する	テキスト・プリント	
		各コマにおける授業予定 かかりつけ薬剤師指導料の算定要件を確認後、計算問題を行う		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標 服薬管理指導料の加算を理解する	テキスト・プリント	
		各コマにおける授業予定 特定薬剤管理加算などを含む計算を行う		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標 在宅訪問の概要を理解する	テキスト・プリント	
		各コマにおける授業予定 在宅訪問薬剤管理指導料の算定要件を理解し計算を行う		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標 介護保険の概要を理解する	テキスト・プリント	
		各コマにおける授業予定 居宅療養管理指費を理解し、前回の在宅訪問薬剤管理指導との違いを確認する		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標 緊急時在宅訪問薬剤管理指導料の算定要件を理解する	テキスト・プリント	
		各コマにおける授業予定 問題を通して緊急時訪問を理解する		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標 その他の薬学管理料の算定要件を理解する	テキスト・プリント	
		各コマにおける授業予定 問題を通して服用薬剤調整支援料などの算定を行う		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標 試験前解説(前半)／期末試験(後半)		
		各コマにおける授業予定 手計算によるレセプト作成能力を評価する		